



ITmedia

ITmedia
ITノウハウライズ

ITmedia

ITmedia
ITセキュリティ

ITmedia Security Week 冬

ゼロトラストは切り札か?
「新常態」で求められる新たなセキュリティ対策とは

[集合型オンラインセミナー (Live配信)]

Ver.2.0

開催 : 2020年12月7日週
事前申込 : 約600名想定
各セッション視聴 : 約150名想定
申込締切 : 2020年9月25日 (金)

アイティメディア株式会社

営業本部

TEL : 03-6893-2246 / 2247 / 2248

Mail : sales@ml.itmedia.co.jp

企画主旨

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、経済の先行きも見通せない中、わたしたちはこれまでの生活様式や働き方の見直しを迫られています。企業ではその規模を問わず、社員や顧客の安全・安心を最優先とし、「感染予防を前提とした新しいワークスタイル」への移行が喫緊の課題となるでしょう。それは企業がウィズコロナを乗り切り、収束後も持続的に成長していくための新たな条件でもあります。

しかし、時と場所を選ばない新たな働き方は、それを支える情報システムの大きな見直しが避けて通れません。テレワークでは持ち出した会社のPCや個人のPCから社内のネットワークに接続します。クラウドサービスの利用も加速しており、企業の内と外はますます曖昧となり、従来のセキュリティ対策の主流だったファイアウォールやIPS/IDSによる境界防御も万全ではなくなるでしょう。すべてのトラフィックを信頼せず、対策を講じるという「ゼロトラスト」のアプローチがにわかに注目されているのはそのためです。

ITmedia Security Week 冬では、アイティメディアのテクノロジー系3媒体がゼロトラストをはじめとするさまざまな新潮流をテーマに取り上げ、企業ユーザーや専門家の講演を交えながら、ウィズコロナの「新常態」で求められるセキュリティの新たなソリューションをご紹介していきます。

イベント概要

開催概要

開催日時 : 2020年12月7日週

イベント形式 : 集合型オンラインセミナー
(Live配信)

事前申込 : 約600名想定

セッション視聴 : 約150名想定

視聴者参加費 : 無料



オンラインセミナー エントランスイメージ

想定来場者

経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者、SIer など

告知／集客

@IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブを中心とした当社媒体

主催

@IT、ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ
(以上、アイティメディア株式会社)

運営

アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

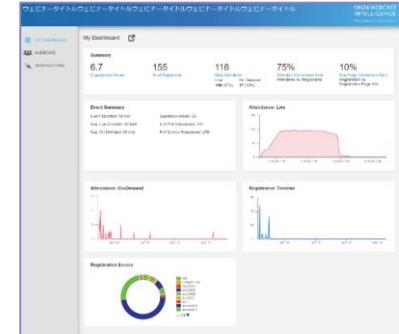
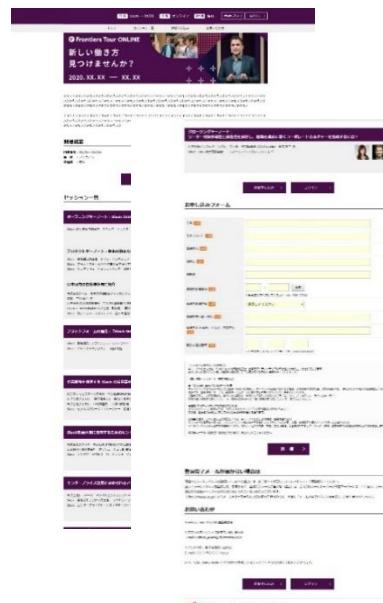
Live Webセミナー 全体図

集客

申込

オンライン
セミナー
(Live配信)

イベント
レポート



通常イベントと同様にITmedia運営のWebサイトやメールで集客を行い、
読者を申し込みページへ誘導。申込者に対してオンラインイベントを案内します。
ご参画各社様には、セッションや資料ダウンロードの他、
オンラインイベントならではの詳細なレポートをご用意します。

Live Webセミナー 画面イメージ

▼セミナー会場 エントランス画面

※画面レイアウトは過去実施のものです。

Live Webセミナー 講演／セッション画面イメージ

①講演者紹介

②講演スライド



③資料ダウンロード、関連リンク

④質問送信フォーム

⑤常時表示可能なアンケート

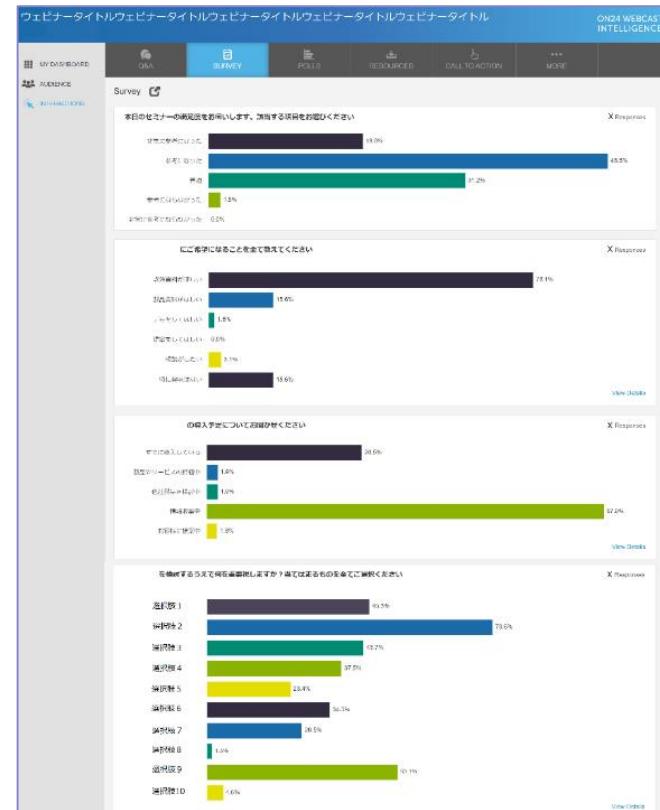
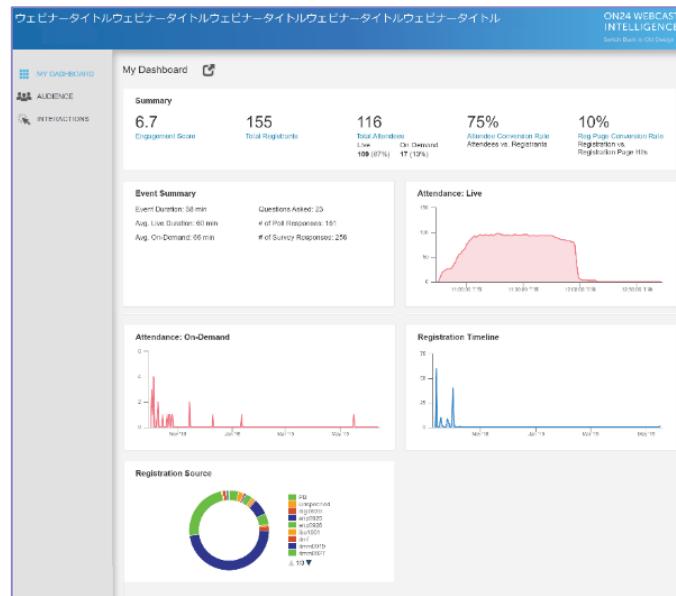
Live配信時のスポンサーセッションにはQ&Aコーナーが用意されており、講演に参加している視聴者はその場でテキストにて質問が可能です。

(※スポンサー様がQAコーナー設定をされた場合のみ)

講演配信だけではなく、アンケートや視聴者からの質問に応えるQ&A機能、POLL（投票アンケート）などのインタラクティブな機能や、情報提供が行えるダウンロード・関連リンク機能をご用意しています（一部機能はオプションとなります）

オンラインイベントならではの強力なレポート機能

セッションへの登録状況や視聴有無、視聴時間、流入経路、アンケート結果などを、視認性の高いダッシュボードでリアルタイムにご確認いただけます



オンラインレポート掲載項目

- ・視聴者情報（登録項目、登録日時、登録経路、OS、ブラウザなど）
- ・ライブ／オンデマンドの視聴人数、平均視聴時間
- ・ライブの最大同時視聴数、視聴人数の推移
- ・Q&A、資料ダウンロードなどの行動履歴

ゾーン紹介とゲストセッション

LIXILに学ぶ

ゼロトラストによるセキュリティ変革と持続的に成長できる組織づくり

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中、企業ではその規模を問わず、社員や顧客の安全・安心を最優先とし、「感染予防を前提とした新しいワークスタイル」の実現が急務となっています。

しかし、感染拡大で急速に進んだテレワークは、ファイアウォールやVPNといった従来型のネットワーク設計がはらんでいた弱点を浮き彫りにしました。テレワークでは、それまで想定してこなかった多くの社員が社外のPCから社内のネットワークに接続します。そのトラフィックの膨大さはもちろんのこと、境界防御を主とした従来のセキュリティ対策も万全ではなくなります。すべてのトラフィックを信頼せず、対策を講じるという「ゼロトラスト」のアプローチがにわかに注目されているのはそのためです。

エグゼクティブゾーン「新常態のセキュリティ変革」では、緊急事態宣言の翌日には東京本社社員の実に98%、国内全体では2万人以上がテレワークに移行したLIXILグループで同対策を推進した基幹システム統括部長岩崎磨氏をゲストにお招きし、ゼロトラストの考え方に基づいたセキュリティ変革と「新常態」でも持続的に成長できる組織づくりについて議論していきます。

ゲスト講師候補

※ご登壇をお約束するものではありません。また、講演内容は一案です。



「変わらないと、LIXIL 2万人超えのテレワーク支援を内製エンジニアでやりきる」

LIXILグループは政府の要請に先立ち、約5000人が在籍する東京本社では、緊急事態宣言が発令された翌日の4月8日には98%の社員がテレワークへの移行を完了した。国内全体では、利用者は2万人に上る。「普段からいつでもどこでも働ける制度とシステムを整えてきたからこそ、短期間で一気に形にできた」と岩崎基幹システム統括部長は振り返る。「新常態」に求められる変革について、短期間で2万人超えを実現した同社のテレワーク移行プロジェクトを事例としてご紹介する。

CSIRTはどの組織にも必要なものだと考えています。しかし、設立すること自体をゴールとしていては、CSIRTは「ブーム」でしかありません。それを機能させるには、人の力とソリューションの力をうまく組み合わせる必要があります。

業種、業態、規模によらず、インシデント対応の窓口は必要です。CSIRTの本質とは何かを識者から学びつつ、運用の中で有効なソリューションを同時に学ぶことで、名ばかりではない、ほんとうのCSIRTの姿が見えるはずです。もう一度、CSIRTを“換骨奪胎”し、来るべき有事に備えてみませんか。

ゲスト講師候補

※ご登壇をお約束するものではございません。また、講演内容は一案です。



「客観的にCSIRTを眺めたら、すべてが見えてきた」

パネルディスカッションでは、CSIRTの現場で“CSIRT番長”として活躍した阿部氏と、セキュリティリサーチャーとして最前線で活躍する辻氏の二人が対談。CSIRTから一定の距離を置く辻氏からは、CSIRTはどのように見えるのか。その視点を切り口に、歯に衣着せぬトークを繰り広げる。

(注：対談には大企業で現役のCSIRTメンバーを含め、3人のパネルディスカッションとなる可能性があります)

ANAグループ CSIRT 阿部 恭一 氏／SBテクノロジー 辻 伸弘 氏

【参考記事】

セキュリティ人材がいないなんて大ウソ？ ANAグループのCSIRT番長、阿部恭一氏の人材発掘、育成法 - ITmedia エンタープライズ
<https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1804/25/news013.html>

ソフトバンク・テクノロジーの情報漏えい、失意に沈む会議室の空気を変えた「一言」 - ITmedia エンタープライズ
<https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1712/15/news010.html>

ゲスト講師候補

※ご登壇をお約束するものではありません。また、講演内容は一案です。



「もう一度『手の届くCSIRT論』を語り尽くす」

ブームのあと、もう一度るべきCSIRTの姿を考えたとき、記号としてのCSIRTを取り外すと残っていたものは何だろうか。CSIRTを研究し続けてきた山賀氏が、CSIRTという山の中に埋もれた本当に大事なものの見つめ直し、るべき姿を再認識するためのヒントを語る。

日本シーサート協議会 山賀 正人 氏

【参考記事】

「CSIRT」という言葉は忘れよう 研究家が語る理想のインシデント対応体制とは - ITmedia エンタープライズ
<https://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/2009/09/news007.html>

UPDATE!

オンプレミスの境界で区切られた世界ならば暗黙的に許されていたことが、クラウドという世界では通用しないことがたくさんあります。その一つが「認証」。サービスを利用できるかどうかを判断するため、顔の見えないサイバー空間でどう相手を判断するか、非常に重要なポイントとなりました。

多要素認証やOpenIDだけでなく、最近ではeKYC技術など、さまざまなソリューションも登場しています。Fintechの鍵はAPI連携であり、システムとシステム、企業と企業をつなぐ際にも、相手が誰であるかを判定することは、システムが安全に運用できるかという意味で死活問題となりました。そこで今回は「認証」をテーマに、いかに相手を信頼するか、その手法と考え方を解説したいと思います。

ゲスト講師候補

※ご登壇をお約束するものではございません。また、講演内容は一案です。



「認証技術を追う」

OpenID、WebAuthn FIDO

2.0——インターネットごしに相手を判断するために、さまざまな技術が登場しています。その技術を紹介しつつ、認証に起因する潜在的なリスクや実際に起きた問題から、認証の勘所を解説します。

ココン 林 達也 氏



「Fintechを安全にするのは“認証”だ」

Fintechに注目が集まる中、金融ISACの課題はいかに多くの組織やシステムを安全につなげるかというのだ。金融業のセキュリティレベル確保が可能な認証方法を考えることで、ITシステムにおける認証をどこまでセキュアにすべきかをパネルディスカッションで考えていきます。

金融ISACメンバー

NEW!

もはやクラウドを利用するには、効率とスピードを考えれば自然なことです。しかし「安全にクラウドを利用する」という視点で考えると、私たちにはまだやれることがあるはずです。攻撃者がクラウドを熟知する前に、もう一度クラウドセキュリティと真剣に向き合う時間を作るべきです。

クラウドセキュリティゾーンでは、幅広いエリアで使われるクラウドセキュリティをもう一度定義した上で、各ベンダーが考える重要なクラウドセキュリティを紹介します。その上で、これまで積み上げてきたセキュリティ技術、セキュリティ投資との整合性を考え、クラウドをどのように安全に取り込むかを考えるきっかけを作りましょう。

ゲスト講師候補

※ご登壇をお約束するものではございません。また、講演内容は一案です。

クラウドセキュリティという言葉が指す範囲は非常に広いため、「どこの、何を守るためのものなのか」を考えながら取り組む必要があります。「企業組織、そしてエンジニアたちが、どの部分の“クラウドセキュリティ”に注目すべきか」を考えます。



クラウドセキュリティアライアンス
代表理事
笹原 英司 氏



ラック
SSS事業統括部 担当部長
原子 拓 氏

オンラインセミナー (Live配信) 開催スケジュール

ゾーン	Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5
	エグゼクティブ	CSIRT構築／運用	クラウドセキュリティ	クラウドセキュリティ	認証
13:00 13:40	Guest セッション (Live)	Guest セッション (Live)	Guest セッション (Live)	Guest セッション (Live)	Guest セッション (Live)
13:50 14:20	プラチナ/ゴールドスポンサー ^(Live) SOLDOUT	プラチナ/ゴールドスポンサー ^(Live) SOLDOUT	プラチナ/ゴールドスポンサー ^(Live) SOLDOUT	プラチナ/ゴールドスポンサー ^(Live) SOLDOUT	プラチナ/ゴールドスポンサー ^(Live)
14:30 15:00	シルバースポンサー ^(Live) SOLDOUT	シルバースпонサー ^(Live)	シルバースпонサー ^(Live) SOLDOUT	シルバースпонサー ^(Live) SOLDOUT	シルバースпонサー ^(Live)
15:10 15:50	Guest セッション (Live)	Guest セッション (Live)	Guest セッション (Live)	Guest セッション (Live)	Guest セッション (Live)
16:00 16:30	プラチナ/ゴールドスポンサー ^(Live) SOLDOUT	プラチナ/ゴールドスポンサー ^(Live)	プラチナ/ゴールドスポンサー ^(Live) SOLDOUT	プラチナ/ゴールドスポンサー ^(Live) SOLDOUT	プラチナ/ゴールドスポンサー ^(Live)
16:40 17:10	シルバースпонサー ^(Live)	シルバースпонサー ^(Live)	シルバースпонサー ^(Live) SOLDOUT	シルバースпонサー ^(Live)	シルバースпонサー ^(Live)

※ タイムテーブル・時間は仮となります。また日数、プログラムはスポンサー数によって変更となる可能性がございます

※ アーカイブ配信は会期後約2週間～1ヶ月程度を予定しています

- ・ゲストセッション+スポンサーセッション×2を1ユニットとし、1日に2ユニットまでLive配信します。各ゾーンのスポンサー枠は最大4枠となります。
- ・「専用ゾーン設置」プラン (p14、15) では、Live配信は10:00～12:00 (予定) に行います。
(変更の可能性もございます)
- ・会期終了後、全セッションを事前登録者に向けアーカイブ配信いたします。 (2週間～1ヶ月予定)

UPDATE!

スポンサーフプラン

メニュー	専用ゾーン 設置プラン (限定2社)	プラチナプラン (プラチナ・ゴールド合わせて各ゾーン限定2枠)	ゴールドプラン (プラチナ・ゴールド合わせて各ゾーン限定2枠)	シルバープラン (各ゾーン限定2枠)	リストプラン
スポンサーセッション セミナー当日、30分のセッション枠をご提供いたします。	○ Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	○ Live配信+アーカイブ	—
スポンサーアンケート 講演時間中に独自のアンケートを実施していただくことが可能です。	○	○	○	○	—
全申込者リストのご提供 セミナー全体の申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。	—	全申込者 約600名想定	—	—	全申込者 約600名想定
自セッションの視聴者データのご提供および、自セッションのレポートサイトのご提供 自セッションのレポートサイトでは、セッション視聴者の名刺情報の他、視聴時間や資料DL状況なども確認できます。	各自セッション視聴者 約150名想定	自セッション視聴者 約150名想定	自セッション視聴者 約150名想定	自セッション視聴者 約150名想定	—
事前アンケート結果 申込時に立場や選定状況等を尋ねます。これらの回答内容を付随したデータを後日納品します。 見込み客の選別やアポイントを取るときの事前情報としてお役立てください。（設問は弊社設定）	○	○	○	○	○
スポンサーLOGO掲載 セミナー告知ページに掲示（社名/貴社サイトへのリンク）します。	○	○	○	○	○
資料配付 セミナー参加者にカタログなど3点までダウンロード提供が可能です。 ※ご講演資料については、主催アンケート回答者に対してデータ配布となります	○	○	○	○	—
主催アンケート結果・開催報告書 主催アンケートの集計結果を後日ご提供します。（個人情報は含みません）	○	○	○	○	○
※お申込みが申込締切日以降となった場合、各プランとも上記の申込者/来場者データ数に達しない可能性があります。 ※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。また、スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたしますのでご了承ください。	¥4,500,000- (消費税別)	¥3,200,000- (消費税別)	¥2,200,000- (消費税別)	¥2,000,000- (消費税別)	¥1,500,000- (消費税別)

■オプション① PR記事（@IT/ITmedia エンタープライズ/ITmedia エグゼクティブ Special）

¥1,000,000-
(消費税別)

上記セッション付きプランにご協賛を頂きました場合に限り、タイアップ記事（貴社セッションをフォーカスしたイベントレポート記事も可）
を特別価格で提供いたします。※実施メディアをひとつお選びください

■オプション② セッション動画納品

¥50,000-
(消費税別)

上記セッション付きプランにご協賛を頂きました場合に限り、セッション動画のmp4ファイルを特別価格で提供いたします。（Live配信セッションのみ／編集なし）

お申込み締切：2020年9月25日（金）

「専用ゾーン」設置プラン 詳細

2社限定で、
編集部企画のゲストセッション+貴社2セッションからなる
貴社専用ゾーンを新設するプランです。

貴社の打ち出したいメッセージに沿った、
集客効果と視聴者満足度の高いゲストセッションを
ゾーン全体の設計も勘案し、編集部が企画・セッティングいたします。

ゾーン全体のスポンサー+自社2セッションで、
ブランディング効果を一層高めます。

充実のメニュー（詳細はp13をご確認ください）

- ・ゾーンゲストセッションの企画・セッティング
- ・貴社セッション枠×2
- ・貴社セッションのレポートサイトご提供（視聴者データ）
- ・事前アンケート結果のご提供
- ・貴社ロゴ掲載
- ・資料データのダウンロード配布（※カタログなど3点まで）
- ・主催アンケートの集計結果・開催報告書のご提供
(※個人情報は含みません)

ご提供価格：¥4,500,000-

(消費税別)

Webcast Eliteユーザー特別プラン

既に自社でWebcast Eliteを導入されている企業向けのプランとなります。本企画のトップページより、特別スポンサーゾーンとして1ゾーン作成し、御社Webcast Eliteのセッション画面へと誘導いたします。API連携により、貴社セッションを訪れた視聴者のデータは、ダイレクトに御社DBに格納することができます。



「働き方改革だけではなく、BCP/DRにも
~いつでも、どんなときでも働く最適テレワーク実現術~

視聴方法

アンケート

お問い合わせ

POWERED BY ON24

働き方改革だけではなく、BCP/DRにも
~いつでも、どんなときでも働く最適テレワーク実現術~

視聴方法はこちら!

キーワード検索

「住友商事における働き方改革」～多様な価値人が力を最大限発揮できる環境整備に向けて～

住友商事株式会社
人事厚生部
武藤 千明氏

特別講演1 ◎5/27 12:00～12:40 視聴はこちら

特別講演2 ◎5/27 14:45～15:25 視聴はこちら

特別講演3 ◎5/28 14:45～15:25 視聴はこちら

すぐ始められて長く使えるVDIを支えるHCIの活用法
～ニュータニックス・ジャパン合同会社

5/27 15:30～16:05 視聴はこちら

組織の持続的成長に求められる、リモートワークの在り方とは
～Sansan 株式会社

5/28 15:30～16:05 視聴はこちら

テレワークを支援するプログラマブルコミュニケーション
～Vonage Japan 合同会社

5/28 16:10～16:45 視聴はこちら

テレワークを成功させるコミュニケーションとタスク管理
～Wrike Japan 株式会社

5/28 16:50～17:25 視聴はこちら

5/28・5/29 アーカイブ配信

5/29 アーカイブ配信

アーカイブ配信

アーカイブ配信

協賛 ivanti SANSAN SCSK Soliton 高千穂交易株式会社 NUTANIX VONAGE mobileiron PBSystems macnica networks Wrike

特別スポンサーゾーンとして
エントランスから貴社Webcast
Eliteのセッション画面に直接誘導



API連携

貴社Webcast Elite

データベース

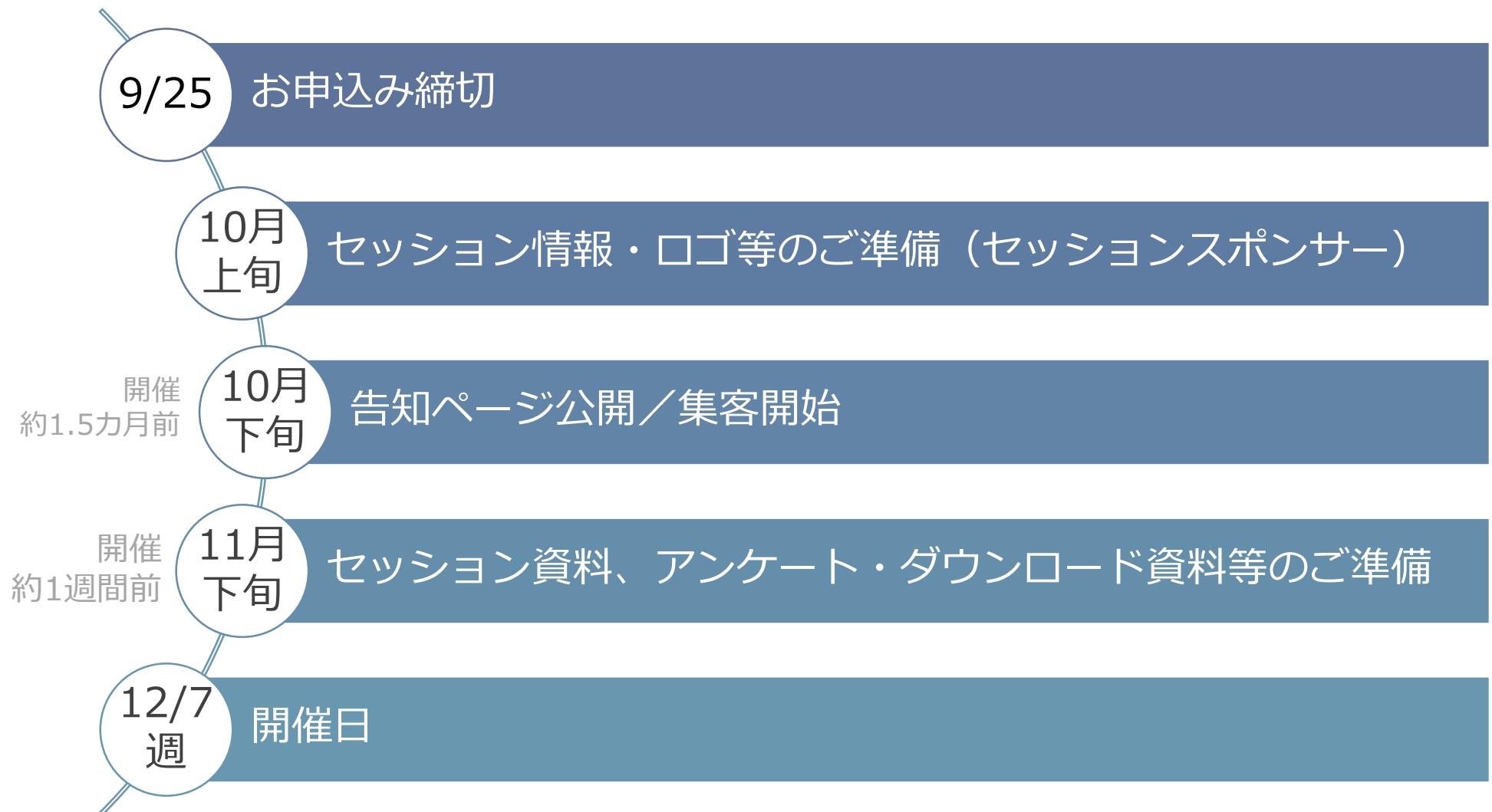
申込者データの項目は本イベントの項目に準拠します。

提供物一覧

- 貴社スポンサーゾーン（3セッションまで掲載可）
- 全申込者リスト（約600件）／視聴者データ
- 事前アンケート結果
- スポンサー口ゴ掲載
- 主催アンケート結果・開催報告書

ご提供価格：¥4,000,000-
(消費税別)

開催までのスケジュール（予定）



※詳細なスケジュールは、開催日が決定してからとなります。あくまでも目安として参考にしてください。

オンラインセミナー ご留意事項

配布資料について

本セミナーでは配布資料としてカタログなどを3点まで、ダウンロードもしくは外部リンクにて配布することが可能です。

(ご講演資料については、後日実施する主催アンケート回答者のみへのデータ配布となり、会期内の配布はございません)

- ・資料形式：PDF、リンクURL

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願ひいたします。

●リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク2：ライブストリーミングプラットフォーム（ON24）における障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。ON24は障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

●リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

●リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。

10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

個人情報データの取り扱いについて

本イベントの個人情報または個人情報を含むデータの提供に際し、以下の点をご確認下さい。

1. (データ授受手続き)

提供する個人情報または個人情報を含むデータ（以下「個人データ」という）を受け渡しの際は「個人情報受領書」に署名をいただきます。

2. (利用目的の制限)

個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスの情報提供に限定してご利用下さい。

本利用目的以外で当該個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

3. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

個人データを元に情報提供する際は、必ず「貴社内の連絡先」「個人データ収集元となったイベント名」および「個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

4. (管理責任者)

個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

5. (安全保管)

個人データの記録媒体を紛失・流出等から保護するように安全管理をお願いいたします。

6. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

7. (委託)

貴社で、個人データを業務委託する際には委託先の監督をお願いいたします。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。

また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。



ITmedia
IT/IT-プライス"

ITmedia
IT/IT-データ